

**諏訪市神宮寺における獣害対策
の取組について
(平成19年10月22日実施)**

ステップ1 先ずは獣の生態を学ぶ

ニホンジカ

- ・木の葉、草本、竹、冬芽、樹皮を採食
- ・群れ生活（10頭前後）
- ・オスの群れ、メスと子供の群れ
- ・季節移動する
- ・秋の発情期にオスが争い合う
 - ・一大事
- ・個体数変動が大きい
- ・増えると自然植生を破壊
- ・大雪の年は大量死がみられる



ニホンジカやイノシシの生態を学ぶ

捕獲しても被害は減らない



捕獲だけに頼らない防除が必要

被害防除のポイント

- ①音・光・臭いはすぐ慣れる
- ②加害動物の特定（足跡、糞、食べ跡）
- ③誘因物を放置しない
- ④森林整備、休耕農地の刈り払い
- ⑤地域ぐるみで追い払い（特にサル）
- ⑥効果的な罠（特に電気罠）
- ⑦どうせ捕獲するなら被害地で

これが防除のポイント

ステップ2
現場で実践し、被害状況の
「チェック・マップ」作成



実際に歩き、被害をチェック



被害のポイントを図へ記入



これで被害マップの完成

ステップ3

神宮寺における
平成19年11月17日(土)の
作業の実施状況



しし垣の建設(その1)



しし垣の建設(その2)



しし垣の建設(その3)



しし垣の完成

A photograph showing a forest clearing. In the foreground, there is a large pile of brown, dry leaves and twigs. A black plastic barrier runs along the edge of the clearing, separating it from a fenced-in area. The fence is made of chain-link fencing supported by wooden posts. In the background, there are several trees, some with yellowing leaves, suggesting an autumn setting. The sky is visible through the trees.

H20年度しし垣を延長